

MIDIFLEX 4

www.nektartech.com

ユーザーガイド

nektar

内容品

MIDIFlex 4には以下の物が同梱されています。

- The MIDIFlex 4 USB MIDI インターフェイス
- 取扱説明書
- 標準USBケーブル
- ソフトウェア・ライセンス・カード

上記のいずれかが不足している場合、弊社サポートまでご連絡ください。

接続と電源

MIDIFlex 4はUSBクラスコンプライアントのため、接続するコンピュータにドライバをインストールする必要はありません。Windows、OS X、iOS (別売のカメラ・コネクション・キットが必要)の標準USB MIDIドライバを使用します。

はじめに、付属のUSBケーブルを使用して、MIDIFlex 4をコンピュータのUSB端子に接続します。

次にMIDI機器のMIDI出力から、MIDIFlex 4のMIDI DINポート1または2のいずれかに接続します。受信側MIDI機器のMIDI入力には、MIDIFlex 4の4つのMIDI DINポートのいずれかを接続します。

MIDIポート1と2は、入力/出力のどちらとして機能するかを自動的に検出します。設定が切り替わる時、わずかなクリック音が聞こえます。

MIDIポート3と4は常にMIDI出力として機能します。

Nektarine ソフトウェア・コントロール

MIDIFlex 4は、Nektarのコントロール&ライブラリプラグイン"Nektarine"と互換性があります。MIDIFlex 4とNektarineによって、DAW上でMIDIパラメーターを自動化することができます。また、Nektarineと互換性のあるNektarコントローラーをお持ちの場合は、それを使って外部MIDIパラメーターをコントロールしたり、個々のパラメーターに名前を付けたりすることもできます。

最新版のNektarineをダウンロードするには、お持ちのNektarアカウントで当社のウェブサイトにログインするか、同サイトでNektarユーザーアカウントを作成してください。

www.nektartech.com/registration

次に、画面に表示される指示に従って製品を登録します。

製品概要



MIDI DINポート 3 & 4 Out

受信側となる機器のMIDI入力端子に接続します。この2つのポートは、接続されたMIDI機器にソフトウェアからのデータを送信します。

MIDI DINポート 1 & 2 In/Out

MIDI機器のMIDI出力またはMIDI入力に接続します（接続に基づいて、これらのポートの役割は自動的に切り替わります）。

USB B 標準プラグ

付属のUSBケーブルをこのUSB端子に接続し、ケーブルのもう一方の端をコンピュータに接続します。別売のUSBカメラ・コネクション・キットを使って、iOSデバイスに接続することもできます。

Modeボタン

コンピュータと接続せず、USB電源アダプタから給電されている場合は、MIDIFlex4をMIDIマージボックスまたはMIDIスプリットボックスとして使用できます。Modeボタンを押し、どちらの機能にするかを切り替えます。

MIDI LED インジケーター

4つのLEDインジケーターは、ポートがMIDI入力として設定されている場合は緑、MIDI出力として設定されている場合は赤に点灯します。ポートからデータが送信されると点滅します。

DAWの設定

コンピュータに接続すると、2つのUSB MIDI入力と4つのUSB MIDI出力が自動的に使用可能になります。

たいていのDAWでは自動的にポートが認識されますが、一部、設定が必要です。通常、MIDIデバイスの設定画面は、DAWのPreferences（環境設定）の中にあります。ご不明な場合はDAWの説明書をご確認ください。

操作の手順は次のとおりです：

- MIDIFlex 4をコンピュータに接続します。
- DAWを起動します。
- (DAWの環境設定にある) MIDI設定を確認して、「MIDIFlex 4 USB MIDI port」がアクティブであることをご確認ください。
- MIDI機器をMIDIFlex 4に接続します。
- MIDIトラックを作成し、出力に「MIDIFlex 4 USB MIDI port」を選択します。使用可能な出力ポートは4つありますが、ポート1または2が入力として設定されている場合は、そのポートは選択しないようにご注意ください。
- たいていのDAWでは、「all MIDI inputs」を選択したトラックに自動的にルーティングされますが、MIDIFlex 4の入力ポートが正しく使用できるかどうかをご確認ください。

MIDI マージ & スプリット

MIDIFlex 4をコンピュータに接続していない場合、スタンドアロンのMIDIマージボックスやMIDIスプリットボックスとしてお使いいただけます。この場合、給電のために市販のUSB電源アダプタを別途用意ください（多くの携帯電話の充電器で対応可能です）。

- [Mode] ボタンを押して、[Merge] と [Split] を切り替えます。
- MIDIポート1と2のLEDが緑の場合は、Mergeが選択されています。ポート1と2が入力として機能し、入力されたMIDIデータがマージ（結合）されます。ポート3と4は出力として機能し、両方ともポート1と2から結合されたデータを送信します。
- MIDIポート1のLEDのみが緑色に点灯している場合は、Splitが選択されています。これで、ポート1に入力されたMIDI信号がポート2、3、4に送出されます。

MIDIFlex 4がコンピュータに接続されている場合、マージ（結合）およびスプリット（分割）機能は使用できません。

安全上のご注意

食物や地下水に触れないよう、必ず指示にしたがってご使用ください。

注：この機器はテスト済みであり、FCC規則のパート15に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限により、住宅での設置における有害な干渉から、適切に保護されるように設計されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、定められた設置状況で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、機器の電源をオン/オフしたり、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向き、または位置を変更します。
- 装置と受信機の間隔を広げます。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店、または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

CE

